

会 議 録

1 会議名

第4回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

・指定避難所の見直しについて

○議題（公開）

・地域活動支援事業について

3 開催日時

平成26年7月2日（水）午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

春日謙信交流館 第1会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：飯田攻、池杉清子、大竹明德、長田久夫、竹内伊澄、田中実、
中島富士一、南雲和子、宮腰明浩、宮脇信行、山本紀昭、吉田実、
渡部正由

・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、恩田係長、小林主事
防災危機管理課 江口課長、大島主任
上越観光コンベンション協会 小池事務局次長
上越商工会議所 総務課 秋山係長

8 発言の内容

1 開 会

【恩田係長】

定刻になりましたので、平成26年度第4回春日区地域協議会を開催いたします。
本日の出席人員は現時点で11名でございます。中島委員、宮腰委員からはご連絡を

いただいておりますので、のちほどお越しいただけるものと思います。また、橋本委員、宮崎委員、鷺澤委員からは欠席のご連絡をいただいております。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。

2 挨拶

【恩田係長】

はじめに、吉田会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

【吉田会長】

本日はお忙しい中、第4回春日区地域協議会に出席いただきまして、ありがとうございます。地域活動支援事業の1次募集が無事終わりました、残額が360万9千円ということです。また2次募集が昨日、7月1日から始まっております。また慎重に審査いただくということで、よろしくお願いいたしますと思います。

また、今日はお忙しい中、上越観光コンベンション協会の小池次長さんからお越しいいただきまして、謙信公・聖地プロジェクトについて、私たちにレクチャーをしていただくことになっております。その後、1次審査で色々な意見を交わしたわけですが、そういうところの反省といいますか、意見がありましたら、2次審査に入る前に出して、皆さんと意志の共通化を図っていきたくと思いますので、よろしくお願いいたします。

【恩田係長】

ありがとうございました。それでは、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長から議長を務めていただきます。吉田会長、よろしくお願いいたします。

【吉田会長】

以降の議事を務めてまいりたいと思います。皆さんご協力をお願いいたします。今日は6時半から、概ね8時位には終了したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それから本日は宮腰委員が会議録の確認者になっていますが、まだお見えになっていないので、名簿順の次の宮脇委員が会議録の確認ということで、よろしくお願いいたします。

3 報告事項

【吉田会長】

それでは、次第の3の報告事項に移りたいと思います。

「指定避難所の見直しについて」、担当課から、報告をお願いしたいと思います。防災危機管理課の皆さん、よろしくお願いいたします。

【防災危機管理課 江口課長】

防災危機管理課の江口と申します。よろしくお願いいたします。

「避難所の見直しについて」ということで、若干説明が重複することがあるかと思いますが、貴重なお時間を少々いただきたいと思っております。お手元の資料No.1と、それから避難所のマップということで資料No.2を配布させていただいております。

避難所の見直しにつきましては、長年の課題として、市の中で色々検討してきました。合併しまして、合併前の避難所をそれぞれ引き継ぎまして、328ありました。合併前上越市におきましては、92の避難所があったのですが、その中には当然、災害の時は使えない、また、避難所としての色々な課題がありました。その後、皆さんもご存じのとおり、東日本大震災を受けまして、その結果を踏まえて国の法律、「災害対策基本法」が一部改正されました。その中で避難所につきましては、今までそれぞれの市町村が任意で設置しておりましたが、その災害を受けて、法律の改正がされて、今度は市が避難所を指定するということが明確に記載されています。その中で今回、今年の3月下旬からそれぞれ、当然行政サイドだけでは見えない部分がありますし、どうしても地域の皆さんからご協力いただかないといけない部分があるということで、地域との意見交換、主に自主防災組織の関係する皆様方と意見交換をさせていただきながら、今回、避難所を確定させていただきました。詳細については担当から説明をさせていただきますが、春日区におきましては、今回指定緊急避難場所が7箇所、指定避難所が5箇所というようなかたちで、今回見直しをさせていただきました。法律に基づいて名称も変わってきております。ご協力いただければと思っております。細かい中身については、また担当から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【吉田会長】

はい、ありがとうございます。

【防災危機管理課 大島主任】

【吉田会長】

ありがとうございました。皆さん何か質問事項がございましたら…。過去2回、説明会がありましたね。私も2回とも出させていただいたのですけれども、初めて聞かれる方もいらっしゃると思いますので、質問があればお願いします。

【田中委員】

先日、2回の説明会に出させていただいたのですが、最後のほうで春日山町一丁目町内会長さんのほうから、蟹沢の池と林泉寺の辺りが土砂崩れの可能性があるというのを聞いていたのですが、その経過というのはどうですか。皆さん、農林水産課の避難所と皆さんが指定される避難所は食い違うのではないかとっておられたと思うのですが。

【防災危機管理課 大島主任】

農林水産整備課担当と、春日山町一丁目の町内会長さんとお話しさせていただきました。まず農林水産整備課との話の中で決めた避難所、こちらは町内会で避難する場所ということに決めていただいて、まず一旦そこへ行ってもらって、その溜池が大丈夫ということであれば、指定避難所に避難いただくということで、整理させていただきました。

【田中委員】

町内会長さんは納得されましたか。

【防災危機管理課 大島主任】

はい。

【吉田会長】

他に、いかがでしょうか。

この他に各町内がどこの避難所に行くかというのがありましたよね。そういうところをはっきりとすること…。

【防災危機管理課 江口課長】

それは説明の段階で、概ねどこの避難所に、どこの町内会というものは示させていただいたのですが、最終的には先ほど担当が申し上げたように、ガイドブックの中に、避難所マップというものを、後でつけさせていただく。皆さんから全市的な見方で、どこにどういった避難所があるかというものを見ていただきたい。それから、地区の皆さんから、どこに行けばどの避難所が使える、あるいは使えないというのも、この

中でお示ししたいと思っています。これは後ほど、配布させていただきますので、お願いをしたいと思っております。

【吉田会長】

いかがでしょうか皆さん、よろしいですか。

【宮腰委員】

説明会が終わった時に言われていたのですが、町内会といいますか、要するにその住民対策がほとんどを占めているというのですよね。災害はいつ起きるかは分かりませんし、たとえば旅行者とか、たまたま上越市を訪ねていたというような人がどのぐらいいるのか分かりませんが、その中でそういうことに対して全く予備知識がない人がいるわけで、その人たちのガイドをどうするのかという問題になると思うのですが、そのへんのところはとにかく町内会長さんのような主だった人に、お願いをするとか、そういうことがあるのか、お聞かせいただきたいと思います。

【防災危機管理課 江口課長】

旅行や観光客というのは、どうしても一つの課題にはなります。避難所は我々が設置をさせていただき、それぞれの町内会には、概ねこの避難所へというお話をさせていただいておりますが、災害というのは、いつ何時起きるか分かりません。ここにいる皆さん方もそれぞれ出かけられている最中に災害にあった場合、自分の地元の避難所に、すぐに戻れるわけではありません。やはり身の安全を確保するためには、近くの避難所に入っていただくという形になろうかと思えます。おいでいただく観光客の皆様についても、近い避難所に入っていただくようになるかと思えます。そこは大勢、不特定多数という形になりますので、皆さんに周知というのはなかなか難しいですが、それぞれ施設ごとでガイドブックなりを閲覧できるようにしていただければと考えています。どうしても不特定多数の方には、こうしてください、ああしてくださいというのはなかなか難しい面があります。それらが現在の考えであります。

【吉田会長】

よろしいでしょうか。はい、今日は防災危機管理課から、指定避難所の見直しについて確認していただきました。どうもありがとうございました。

— 防災危機管理課職員退席 —

4 議題

【吉田会長】

それでは、まずは事務局から説明をお願いいたします

【恩田係長】

事務局から、今回の説明をさせていただく経緯をお話ししたいと思います。

先日会長から1次募集の審査や採択結果を振り返り、問題点や反省すべきこと、今後の審査のあり方について、意見交換を行ってはどうかというご提案をいただきました。1次募集の審査内容を振り返りますと、春日山城跡のジオラマ製作の審査において、「謙信公・聖地（フィールド・ミュージアム）構想」に関して、数多くのご発言がありました。そこで、今回の意見交換を行う前に、まずはこの構想について理解を深める機会を設定する構成とさせていただきました。

この構想は、上越商工会議所、ならびに公益社団法人上越観光コンベンション協会が策定したのですが、構想を理解することによって、市だけではなく、地域としても同調できる部分があるかと思われま。今日は事前送付資料のNo.1をご覧いただきながら、事務局次長の小池様から15分程度でご説明いただいた後、同じく10分程度で皆さんとの質疑応答を行っていただきたいと思います。この件については、概ね7時頃を目途にお話しいただきたいと思います。よろしくお願いたします。

【吉田会長】

今日の経過は、事務局からお話いただいたとおりでございます。

それでは、小池次長さん、よろしくお願いたします。

【上越観光コンベンション協会 小池事務局次長】

皆さんお疲れ様でございます。今日はお招きいただきまして、大変ありがとうございます。上越観光コンベンション協会の小池と申します。よろしくお願いたします。今ほど会長からお話がありました聖地構想の概要につきまして説明させていただきます。

—資料に基づき説明—

【吉田会長】

ありがとうございました。では委員の皆さんから何か質問がありましたら、お願いします。いかがでしょうか。

【池杉委員】

埋蔵文化センターに売店があって、私も近くなものですから、お土産を買いに、確かレルヒさんのバッチだったか、ストラップみたいなものを買いたくて行ったら、売店では「なくなりました」と言われました。大河ドラマをやっていたときは、そこに上越の色々なものが売っていて、お土産もすごく良かったです。遠くの友達が来ても一緒に見せて、お土産を買ってもらえました。なくなった経緯というか、それはコンベンション協会とちょっと関係がないのですが…。

【吉田会長】

お分かりでしょうか。

【上越観光コンベンション協会 小池事務局次長】

経緯につきましては、お聞きしたことはあります。春日山観光においては、今までに大きな山が2回ありました。最初は石坂浩二さんが主役の大河ドラマ「天と地と」、それから平成21年の「天地人」です。この時には爆発的に春日山に人が来られました。埋蔵文化財センターのほか、屋台会館の中でも展示やお土産の販売もしていました。

それで今の委員のご質問についてですが、その時の勢いを継続することができなかったというのが現状であります。あれ程盛大でなくても、例えば謙信公のゆかりのあるようなものを、もう1回できないかというようなことは、この構想の中に入れました。春日山の上の方に売店もありますから、そちらの皆さんにも当然配慮してということになると思いますが、これから新幹線が通れば、時間がなくて山の上まで行けなかったというようなことも、必ずそういう方はおられますので、構想の中でもできないかと今、検討している状況なのです。

【大竹委員】

資料の最後に「謙信生誕500年というのも視野に」というようなことが書いてあるのですが、これをイベント化したようなものは、構想に入っているのでしょうか。

【小池次長】

500年ということで節目にはなるかと思えます。今はそこを目標にしまして、構想に書いてある事業を実施していこうという、ニーズも踏まえながらやっていきたいということです。かなり厚い構想の資料ですから、一つ一つ見ていくのは大変だと思いますが、450年、500年という節目を目標に目指していきたいと考えておりま

す。時間の関係もありますので、十分に説明することができないのですが、よろしければ、観光コンベンション協会と商工会議所さんのホームページで、きれいなカラー版が載っておりますので、参考にさせていただければと思います。

【上越商工会議所 総務課 秋山係長】

短期の戦略、長期の戦略ということで考えています。短期というのは新幹線開業のタイミングに合わせた戦略、長期というのは、生誕500年、或いは没後450年というタイミングも考えられます。そのような節目では、多くのマスコミがフォーカスしてくれます。そういったところで、謙信公を絶えず情報発信していかなければいけないと考えています。

【吉田会長】

今回の地域活動支援事業の1次募集で、春日山城跡保存整備促進協議会からジオラマの提案があったのですが、やはり、この役割分担の市がやる事業で、コンベンション協会さんが関与しているということですが、それは相談されて今回提案されたということですか。

【小池次長】

ジオラマ作成については、春日山城跡保存整備促進協議会から自発的にやりたいということで話があり、提案されたものです。役割分担につきましては、構想に概ね載っているのですが、民間の役割と行政の役割という形で整理させていただいております。

【宮脇委員】

私は実はHPを見て、2月中に知っていたわけです。新しいジオラマの作成について、ああいう意見を言ったのは、すでに2月の段階で、コンベンション協会と商工会議所とでこういう構想を持っているのにも関わらず、なぜ春日地域の地域活動支援事業に申請されるということが納得いきませんでした。できたら先にこれを示していただいてから、その後に1次募集の議論に入って欲しいと思いました。私はこれを知っていたので、ああいう意見を言ったということなんです。もう終わったことはよいです。一応私の言った背景には、そういうことがあったということだけ知っていただければよいです。

【吉田会長】

できるだけ情報は共有して、もしくは勉強して、進めていきたいということですね。

このことは、もっと早く勉強してもよかったと思います。

その他、いかがでしょうか。分からないことがあったら、事務局を通してお聞きすることがあるかもしれません。よろしく願いいたします。それではこの謙信公・聖地構想についての説明は終わりたいと思います。今日はお忙しいところありがとうございました。

— 説明者退席 —

【吉田会長】

それでは、平成26年度地域活動支援事業の1次募集の審査が行われたわけなのですが、その審査、採択などに関する意見交換を行いたいと思います。

先ほど、事務局から説明したとおり、私がお願いしたのは、1次募集の審査の際にいわゆる誤解とかもあったので、今の聖地構想の説明を含めて、誤解を解いていきたいということがありました。まずジオラマの例で言いますと、いわゆる聖地構想を作った段階で、春日山城跡保存整備促進協議会も、こういった聖地構想に深く関わって、20回も打ち合わせをされたとおっしゃっていましたが、そのように関わっていたんだろうと思います。だから、このパンフレットに保存整備の名前がないのではないかとということではなくて、実際に関わっていたのだということも理解していただきたかったということと、それからジオラマですね、それがやはり保存整備協議会から提案されましたけれども、十分な擦り合わせがあって、保存整備協議会が実行部隊として提案をされてきたということですので、この辺についても説明していただきました。

こればかりではなく、パソコンの講座、そのようなものが不採択となったわけですが、今回の1次募集の審査の中で何か意見等がありましたら、皆さんから、いかがでしょうか。

なければ、これで終了ということになりますが、よろしいですか。

(よしとの声)

それでは、意見交換の予定でしたが、私の話で終わってしまいました。

この聖地構想についてですが、官民挙げてということで、民の方で地域活動支援事業の補助金を使ってというものも今後また出てくるかもしれません。そういったことで、聖地構想をまた更に高めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

5 その他

【吉田会長】

それでは、その他ということで、次回の日程調整を行いたいと思います。

－ 日程調整 －

【吉田会長】

それでは、第5回会議の開催日は7月23日で決定させていただきます。その後の審査スケジュールや今の提案状況の状況について、事務局から少し補足説明いただきたいと思います。

【恩田係長】

－ 提案、並びに事前相談の状況について説明 －

事務局からの提案ですが、23日以降の日程、ヒアリングの予定日も本日お決めいただければ、ヒアリング予定日ということで提案者にお伝えできます。お盆前に設定されれば、お盆の前後で採点していただいて、8月中の採択決定が可能になるかと思っています。第6回会議の日程も、本日お決めいただけますと幸いです。いかがでしょうか。

【吉田会長】

分かりました。それでは疑問点の洗い出しを23日に行いますので、その時にヒアリングするかどうかを決定しますから、少し間を空ける必要があるかと思いますが、いつ頃が妥当ですか。

【恩田係長】

提案者側のご都合も考えますと、8月の4日から8日の間が望ましいかと思っています。

－ 日程調整 －

【吉田会長】

それでは、8月6日（水）を第6回会議の予定日とします。その時に文書照会の回答の確認とヒアリング、それから、可能であれば意見交換を実施して、採点できるようになるという事になります。

採択決定を行う会議は、20日か27日のどちらかということにしておきましょう。日程については以上でよろしいでしょうか。

（異議の声なし）

その他、事務局から何かございますか。

【恩田係長】

ございません。

【吉田会長】

委員さんのほうから特に何かございますか。

(発言なし)

6 閉会

【吉田会長】

それでは第4回春日区地域協議会は以上で終了いたします。お疲れ様でした。

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。